

C 1 0 0 0シリーズ

A A D 1 0 1 1

取り扱い説明書

Ver 1.01

株式会社コスミックエンジニアリング

〒191-0065 日野市旭が丘3 - 2 - 11

TEL 042-586-2933

FAX 042-584-0314

1. 概要と特長

AAD1011 は C1000 シリーズの C-Bus モジュールです。
アナログ音声信号の分配に適しています。

2. 構成

AAD1011 本体とコネクタモジュール RPT1000 または RPC1010 などにより構成されます。

- ・ AAD1011 本体
基板および補強を兼ねたシールド板と一体化したフロントパネルで構成されています。
- ・ RPT1000 コネクタモジュール (フェニックスコンタクト仕様)
フェニックスコンタクトの端子台を使用しています。
- ・ RPC1010 コネクタモジュール (1600 タイプ仕様)
1600 タイプのコネクタを使用しています。

3. 機能

- 1) 入出力数の組み合わせが変更できます。
 - ・ 1 入力 8 出力 1 系統
一つの信号を多数分配するのに適しています。
 - ・ 1 入力 4 出力 2 系統
出力数は多くは必要ないが異種の信号の分配を行いたいときに適しています。

4. 調整方法

出力音声レベルの調整

- 1) オーディオアナライザなどを接続して下さい。
- 2) 信号を観測してフロントパネルの “ GAIN ” ボリュームで調整します。

5. 設置方法

- 1) C1000 シリーズのシャーシにおいて予め使用するスロットにコネクタモジュールを固定
します
- 2) AAD1011 をスロットに挿入し奥まで差し込みます。
- 3) C1001 の使用時は抜け止め防止金具を起こします。
C1002 を使用時はフロントパネルで各モジュールは固定されます。

6. 入出力変更方法

- 1) 1 入力 4 出力 2 系統。
 - ・ “ JP9 ” を “ 1:4*2 ” のポジションにする。
- 2) 1 入力 8 出力 1 系統。
 - ・ “ JP9 ” を “ 1:8 ” のポジションにする。

7. 主な仕様

1) 入出力信号

音声入出力数 1 入力 4 出力 2 系統 (ステレオ対応)

または

1 入力 8 出力 1 系統

基準入力信号 +0dBm 600 平衡

最大入力信号 +24dBm 600 平衡

基準出力信号 +0dBm 600 負荷時 平衡

±4dB レベル可変

(1 入力 8 出力時は G A I N A ボリュームが有効)

最大出力信号 +24dBm 600 負荷時 平衡

2) 基本的電気特性

f 特 ±0.5dBm @20Hz ~ 20kHz

1kHz 基準、基準レベル

歪率 0.05%以下 @20Hz ~ 20kHz

S/N 90dB 以上 30kHz LPF

加ストーク 70dB 以上 @10kHz +20dBm

チャンネル間位相差 ±5° 以内 @15kHz

入出力位相差 ±5° 以内 @1kHz

3) 消費電力 約 3.8W

8. 付属品

リアモジュール RPT1000 の場合 (フェニックスコンタクト仕様) Phoenix Contact 社製
MC1.5/15-STF-3.5 2 個

リアモジュール RPC1010 の場合 (1600 タイプ仕様) ヒロセ電機製
コネクタ (半田タイプ) P-1634BG(09) 1 個
ケース P-1634A-CA(20) 1 個